

# 第3回 門真市水道事業経営審議会資料

平成28年8月30日

門真市上下水道局

1

- 「持続」に向けた目標設定と具体的な実現方策

2

- 「安全」に向けた目標設定と具体的な実現方策

3

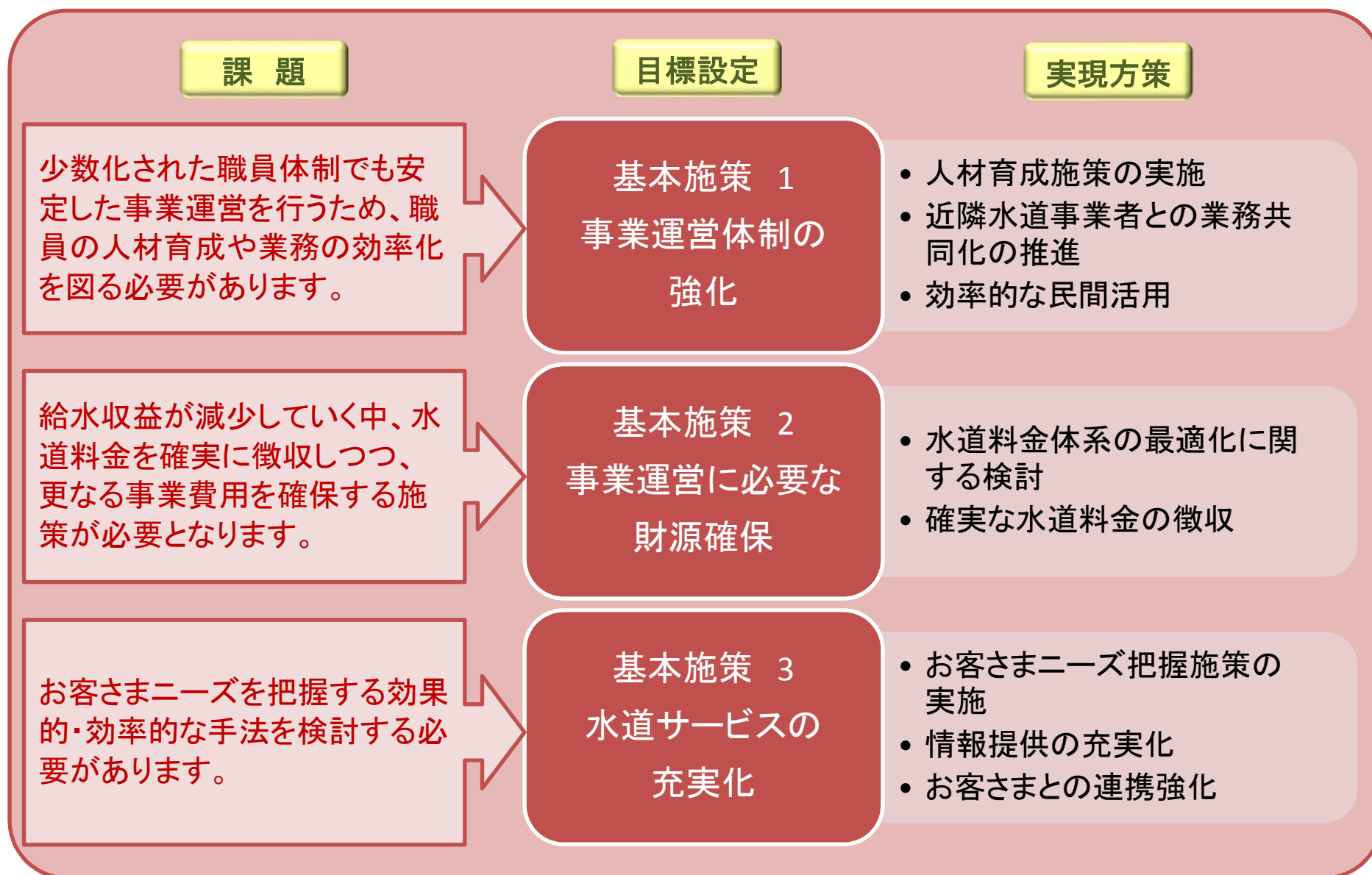
- 「強靱」に向けた目標設定と具体的な実現方策

4

- 全体的なフォローアップ体制

# 1. 「持続」に向けた目標設定と 具体的な実現方策

# 【持続】に向けた施策体系



### 具体的な実現方策

#### 人材育成施策の実施

- ①水道事業に必要な資格のリストアップを行い、取得に向けた支援施策を実施することで、職員が自ら学び成長するための環境整備を行います。
- ②水道事業に必要な技能・技術について、職員の習熟度をチェックシートによる力量評価等により把握し、その結果を内部で開催する研修会の内容に反映することで組織力を強化します。

#### 近隣水道事業者との業務共同化の推進

- 近隣水道事業者と業務共同化を実施します。また、現在、門真市・寝屋川市で実施している共同水質検査を近隣市へ拡大し、検査レベルの向上、検査コストの軽減を図ります。

#### 効率的な民間活用

- 現在委託している修繕・維持管理業務、料金収納業務、施設運転管理業務について、委託したことによる事務事業評価を行い、より良い業務実施方法を検討し、実施することで、更なる効率的な民間活用・業務効率化を図ります。

### 数値目標等

- ①資格のリストアップ・支援施策の実施  
法定資格の取得率(全14種類の資格に対して、1名以上の資格者がいる資格数の割合) 100%⇒100%  
任意資格の取得率(全33種類の資格に対して、1名以上の資格者がいる資格数の割合) 60.6%⇒90.9%
- ②習熟度把握施策の実施  
習熟度の把握

#### 新たな共同化の実施

0件⇒2件(広報業務・研修業務)  
共同水質の拡大 2市(門真・寝屋川)  
⇒5市(門真・寝屋川・大東・東大阪・八尾)

事務事業評価の実施  
0件⇒3件

### 具体的な実現方策

#### 水道料金体系の最適化に関する検討

- アセットマネジメントをダウンサイジングを考慮した施設更新計画に基づき見直し、今後の中長期的な更新需要と事業運営に必要な料金収入を算定したうえで、水道料金体系の最適化に関する検討を進めます。

#### 確実な水道料金の徴収

- 現在の収納率を維持し、また未収金対策として、市長部局と連携したうえで、転居先不明者等に対しても継続した徴収を実施することで、事業運営の主な収入源である水道料金を確実に徴収します。

### 数値目標等

アセットマネジメントの見直し  
料金体系の検討

収納率の維持・向上  
99.82%(過去3年間の  
最大実績値)  
⇒可能な限り100%

### 具体的な実現方策

#### お客さまニーズ把握施策の実施

- お客さまニーズを把握する手法を実施し、より充実した水道サービスを提供します。

#### 情報提供の充実化

- 水道事業としてお客さまにお知らせしておくべき情報の整理を行い、必要な情報をよりわかりやすくお知らせします。

#### お客さまとの連携強化

- 協働を通じて、お客さまとの信頼・絆を構築します。

### 数値目標等

お客さまニーズ把握手法の確立

提供情報内容の整理  
情報提供手法の確立

協働施策の実施  
0件⇒2件(防災訓練等)

## 2. 「安全」に向けた目標設定と 具体的な実現方策



# 【安全】に向けた施策体系

## 課題

市長部局と連携し、貯水槽水道設置者に対する持続的な調査・指導体制を見直す必要があります。  
更なる水質管理体制の強化に向け、給水モニターの設置場所及び箇所数を検討する必要があります。

## 目標設定

基本施策 4  
安全な水の供給

## 実現方策

- 水安全計画の推進
- 貯水槽水道に係る適正管理の指導
- 水質管理体制の適正化

### 具体的な実現方策

#### 水安全計画の推進

- 水安全計画の実施状況の検証を行い、他のマニュアル等との整合を図る等、必要な見直しを実施し、水の安定供給を行います。

#### 貯水槽水道に係る適正管理の指導

- 全ての貯水槽水道の設置者を対象にして、市長部局との連携を強化しつつ、他業務との複合やパンフレットの作成・送付等、継続的な指導を実施することで、蛇口から出る全ての水の安全性を確保します。

#### 水質管理体制の適正化

- 市内7ヶ所に設置している給水モニターについて、管網状況や測定範囲を考慮し、効果的な設置を行い、市内全域の水質を適正に管理します。

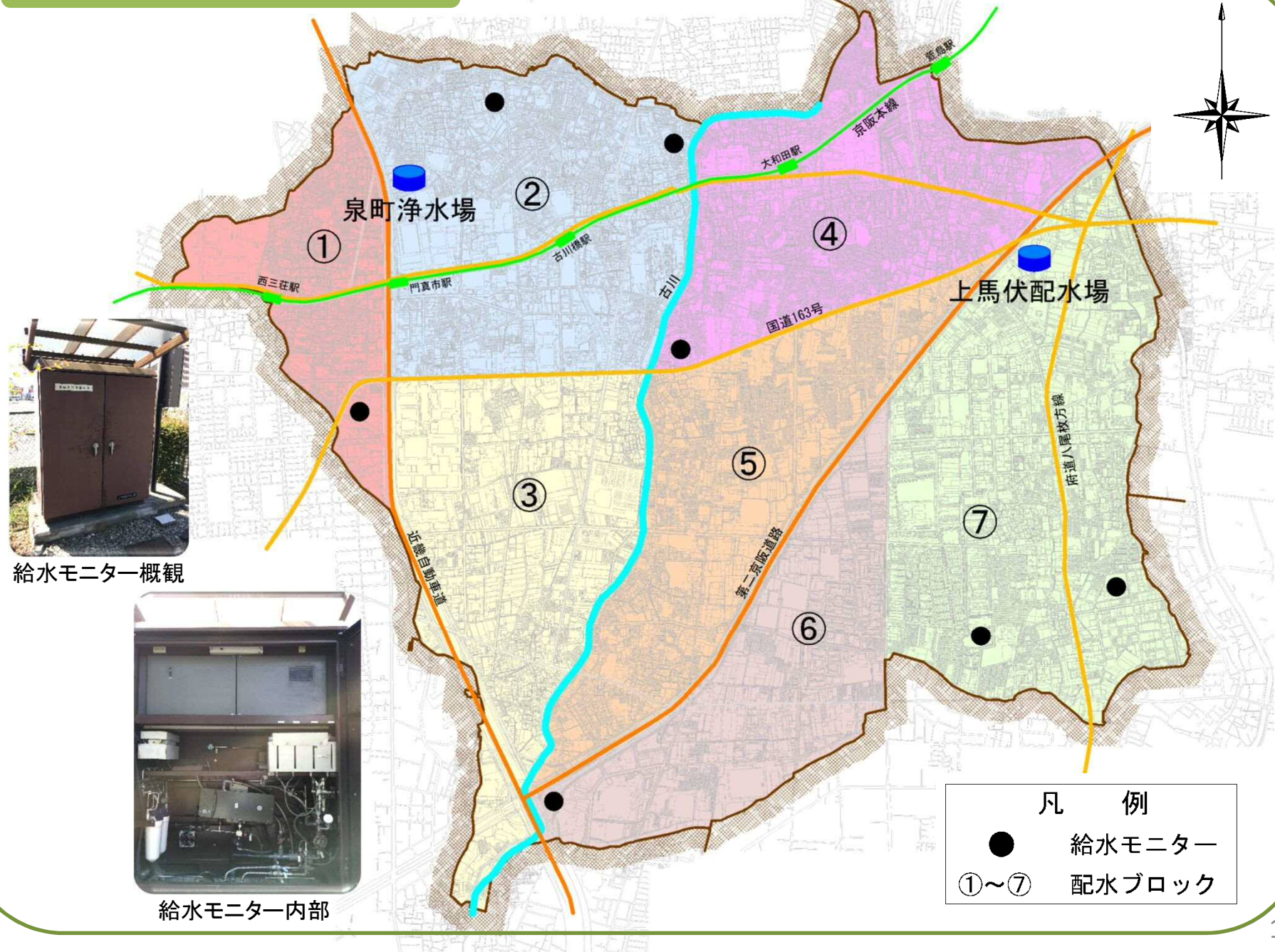
### 数値目標等

毎年の検証の実施

単年度的全貯水槽水道  
指導率 0.2%⇒75%

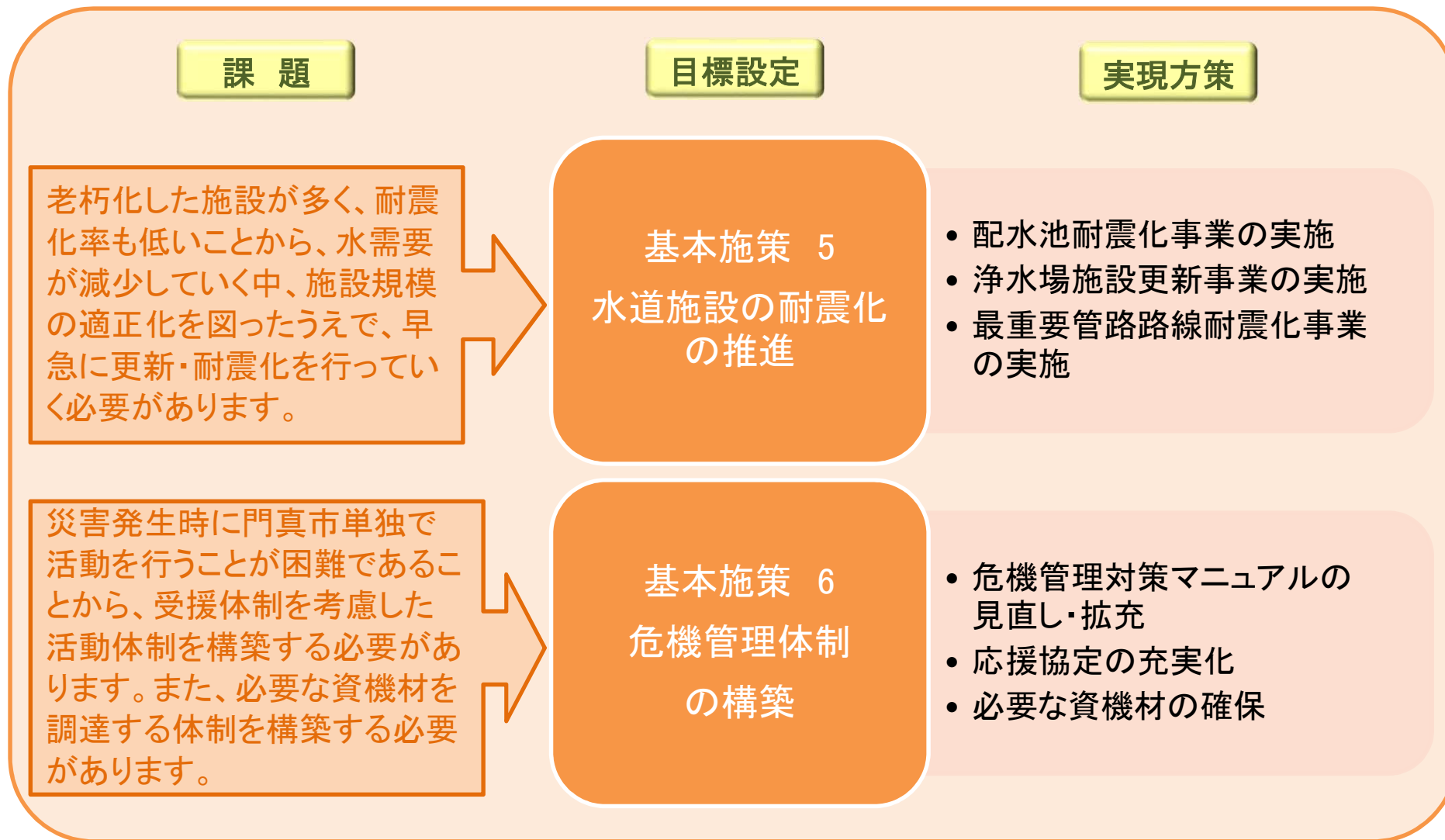
効果的な設置

# 給水モニター一位置図



### 3. 「強靱」に向けた目標設定と 具体的な実現方策

# 【強靱】に向けた施策体系



### 具体的な実現方策

#### 配水池耐震化事業の実施

- 平成25年度より実施している上馬伏配水場4号配水池築造事業を平成30年度に完了することで、泉町浄水場の配水池に貯めた水を合せ、災害発生時でも1人当たり約100ℓの水を確保します。

#### 浄水場施設更新事業の実施

- 耐震化計画に基づき、計画的・効率的に泉町浄水場更新事業を実施することで、災害に強い水道施設を構築します。

#### 最重要管路路線耐震化事業の実施

- 耐震化計画に基づき、最重要管路路線の更新・耐震化事業を実施することで、災害発生時でも重要給水施設への給水を早期に再開します。

### 数値目標等

配水池耐震施設率  
31.1%⇒56%  
配水池貯留能力  
0.46日⇒0.61日

ポンプ所耐震施設率  
70.3%⇒100%

全体の管路の耐震化率  
17.9%⇒29.1%  
最重要管路の耐震化率  
37.3%⇒60.2%

# 中長期耐震化計画図



※最重要管路の耐震化事業は、道路事情や周辺環境への影響を考慮し、複数路線を同時に施工することにより、耐震化率を年間約1%向上させる計画としています。

### 具体的な実現方策

#### 危機管理対策マニュアルの見直し・拡充

- 水道事業として想定される危機事象について、受援体制を考慮した実働的な危機管理対策マニュアルへの見直し・拡充を行い、活動体制を構築します。

#### 応援協定の充実化

- 他の水道事業者や関係事業者等と締結している応援協定の充実化を図り、危機事象への対応力を強化します。

#### 必要な資機材の確保

- 必要な資機材の種類・数量を検討し、計画的に保有します。また、近隣の水道事業体や民間事業者との連携により、危機事象発生時においても資機材の調達が可能となる体制を構築します。

### 数値目標等

マニュアルの見直し・拡充  
受援体制の構築  
防災訓練の実施

応援協定の精査  
事業者の選定基準を策定し、  
応援協定を締結

資機材保有体制の構築  
連携体制の構築



## 4. 全体的なフォローアップ体制

# フォローアップ体制

